

VMware vSphere Essentialsを活用した 小規模企業向け仮想化 支援サービスの概要

システム管理負担ゼロで始める仮想化による既存アプリケーション資産の有効活用

小規模企業システムにおける 「2010年問題」とは？

売りっぱなしと高額アップグレードが招いた
「ソフトウェア難民」企業の実態

'00～'01年 企業の急速なIT化

- PCサーバーの低価格化と中小企業向けパッケージソフトウェアの発展で「1企業1システム化」が一気に広まる
⇒Windows 2000 Serverのシェア拡大
- 企業運営のスピードアップに貢献
⇒以降スピードダウンは許されない状況に
- オールインワンパッケージゆえに運用へのケアは置き去りの傾向
⇒大手販社のばらまき営業？サポート費用は高額に設定

'08～'10年

景気低迷とシステムの陳腐・老朽化

- 長期化する景気低迷で企業のシステム投資能力が低下
 - 「不満」はあれど「解決」する余力なし。システムのアップグレードは高額で手が出ない
- ハードウェアの老朽化が限界に近づいている
 - 償却サイクルを明確化できる中小企業は少ない
 - とはいえ故障する前に対策だけは打ちたい
- Microsoft社のWindows2000サポートが2010年6月で終了
 - ハードウェアを刷新したいのにシステムが載らない

難民化を防ぐソリューションと その先

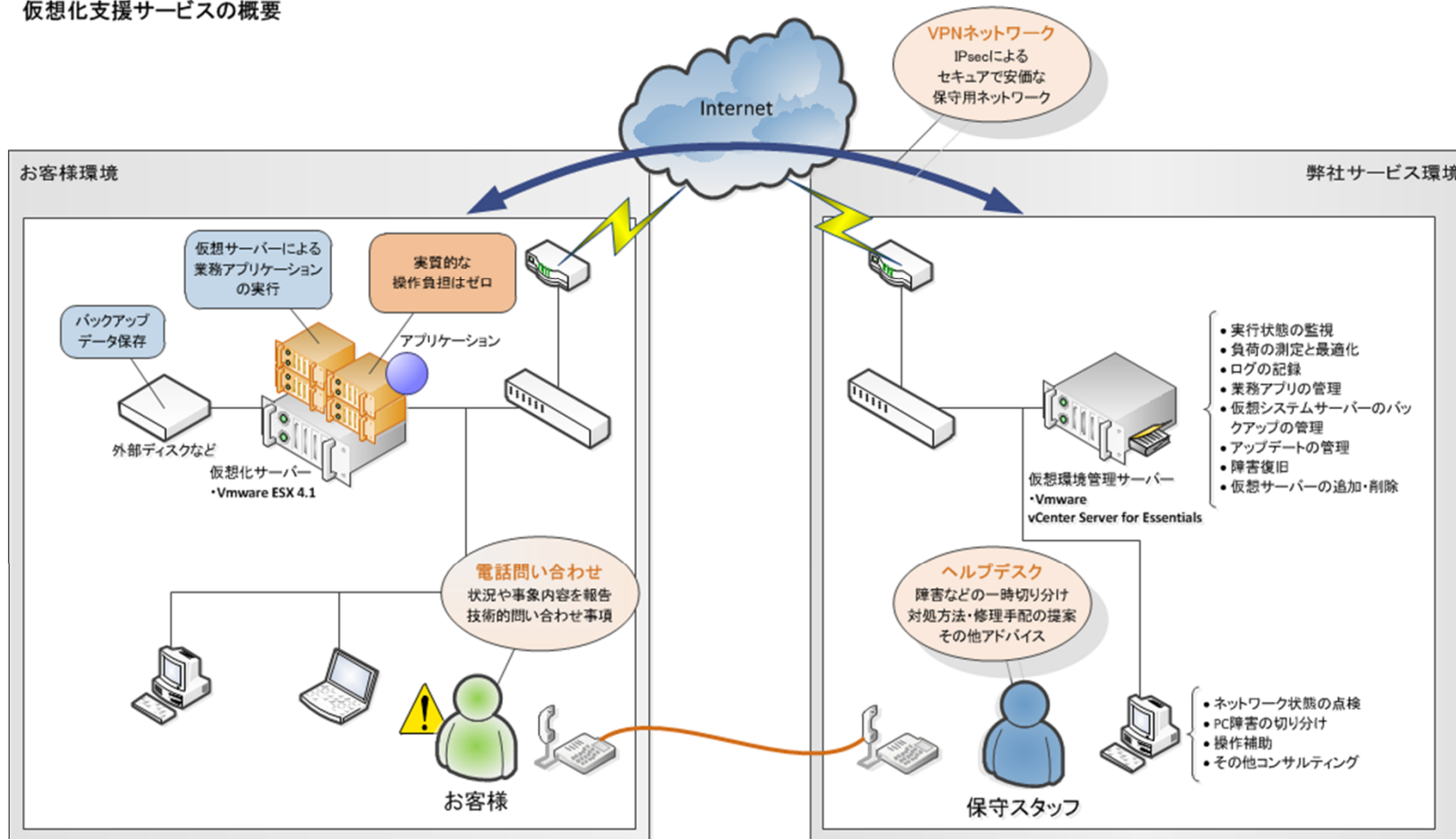
仮想化による既存システム延命。
そして新システム移行への体力づくり

難民化を防ぐソリューション

- サーバー仮想化で既存システム資産を再活用
 - 安心できるハードウェア環境への移行を短時間で実現
 - SOHO向けVMwareパッケージを安価に活用
 - 既存システムに潜在する「アプリ実行環境(OS環境)のサポート」は延命できないことを説明することが重要
- 創造される「余命期間」を陳腐化したシステムのリプレースの原資とする
 - OSセキュリティ面の旧態化や業務適合上の陳腐化はシステムを刷新する必要あり
 - 経営状況と勘案し、計画的な移行計画を後押し
- 仮想環境の運用管理はアウトソーシング
 - VPNによる保守用ネットワークを利用して、専門知識の要する仮想環境の管理を外注化
 - バックアップなど通信負担の大きいタスクは現地リソースをリモートで管理

システム構成

仮想化支援サービスの概要



トエツ・ジャパン株式会社

安価に多くのメリットを提供

- サーバ仮想化のメリットを管理者不在のまま享受
 - ヘルスチェック、バックアップなどの煩わしい運用管理をすべて代行
 - 保守用ネットワークを利用してサーバー、アプリ、PCに至るまで総合的にサポート
 - 仮想サーバーの更新や構成変更などもご要望に応じて対応
- 仮想環境だけにとらわれないおつきあい
 - 日常的なPCなどにまつわるお悩みにも電話で親身にアドバイス
 - ハードウェア障害時などの修理手配や購入のご相談も受け付け
- 抜本的なシステムリプレイスにも応用
 - 仮想環境を新システムにも応用して投資の無駄を排除
 - パッケージソフトウェアの応用も指南
 - 運用保守を通じて得られたお客様業務知識を新システム移行時の設計スキームに応用